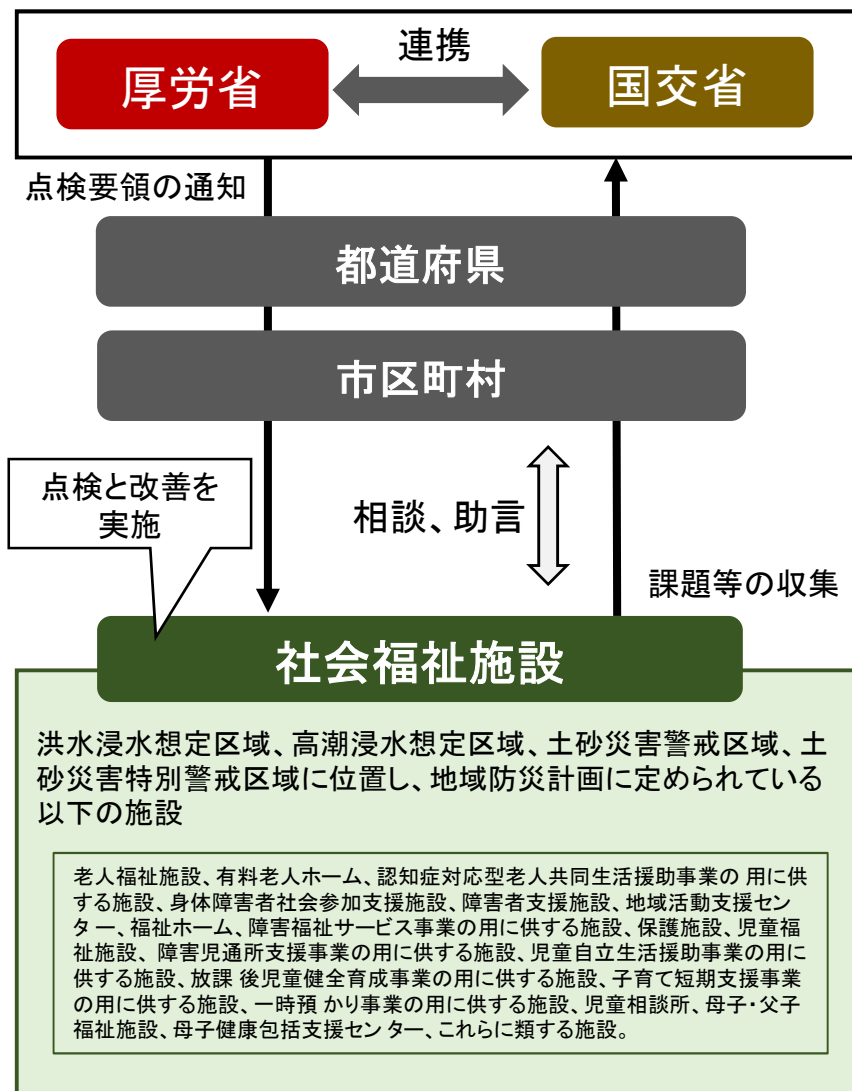


- 令和3年の出水期に備え、個々の施設の避難体制の改善が少しでも進むよう、有識者検討会のとりまとめを先取りして、施設管理者等による自らの点検と改善をお願いしている。(令和3年2月24日に厚労省・国交省の連名で都道府県等を通じて施設管理者等に依頼済み。)



緊急点検の項目

○ 施設の災害リスク情報について

- ・ 施設にどのような災害リスクがあるかをハザードマップ等で確認する。

○ 施設利用者の避難先や避難行動について

- ・ 安全な避難先を確認し、避難先施設の了解を得る。
- ・ 避難先や避難経路に災害リスクが無いことを確認する。
- ・ 施設内での安全確保の場合、浸水しない高さの居室があること、長時間の浸水に備えた備蓄があること等を確認する。
- ・ 急激な災害に備えた緊急移動方法を確認する。
- ・ 市区町村への連絡体制を確認する。

○ 施設利用者の避難支援を開始するタイミングについて

- ・ 災害リスクに対して、避難のタイミング、行動を確認する。
- ・ 夜間や暴風時の避難開始のタイミングを確認する。
- ・ 施設利用者全員の避難に要する時間を確認する。
- ・ 避難の負担軽減の手順を確認する。

○ 施設利用者の避難支援のための体制確立について

- ・ 避難支援要員の確保策を確認する。
- ・ 外部の避難支援者の確保策を確認する。